

船橋 YMCA 通信



No. 76 2014年1月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 FAX：(043)222-5061



あけまして

おめでとうございます

今年が皆様にとって良い年になることをお祈りいたします。

千葉YMCA船橋地域デポ運営委員一同

2014年も“地域の触媒”

としての活動を続けます

船橋YMCAは、10年前からチャリティーランに車いすで参加いただいている「船橋市障害者友の会」の障がいを持つ方々および「車椅子レクダンス普及会(矢車草)」のメンバーの方々のご協力をいただきながら、船橋市内の小中学校の『障がい体験教室』の企画・実行のお手伝いをしています。

毎年同じ事を書いているのですが、この活動は、運営委員4名の非力な組織である船橋YMCAが、地元地域に密着した運動の触媒となって子どもたちに貴重な体験をプレゼントしているもので、今年も続けて行きたいと思っています。

障がい体験教室を開催

2013年11月19日(火)には夏見台小学校、12月3日(火)には八栄小学校で障がい体験教室を開催しました。2013年度はすでに1校で開催していますので全部で3校での開催になりました。

11月19日の夏見台小学校では4年生106名が3つのグループに分かれて、車いす体験、視覚障がい体験および高齢者擬似体験を順番に体験しました。

夏見台小学校の体育館の入り口には車いす用のスロープが新設されていました。こういうことが学

校の中でも考慮されるようになったことが、この活動を続けてきた成果の一つだと思いました。

ご協力いただいたボランティアの方々は、船橋市障害者友の会3名、車椅子レクダンス普及会(矢車草)のメンバー10名と千葉YMCA高等学院の生徒と教師12名でした。



《夏見台小の車いす体験の様子です》

車いす体験の指導者は、普段の生活で車いすを使用している船橋市障害者友の会の皆さんと車椅子レクダンス普及会(矢車草)の方々です。

視覚障がい体験は、アイマスクをして介助者の手の袖を軽くつかんで歩きます。



《夏見台小の視覚障がい体験の様子です》

高齢者擬似体験は、両足首に重りをつけて、白内障を擬似するための視野が狭く見え景色も不鮮明になるメガネをかけて、利き腕のひじには動きにくくする肘あてをつけたうえで、杖をついて跳び箱を上り下

りました。



《夏見台小の高齢者擬似体験の様子です》

12月3日の八栄小学校では5年生180名が車いす体験と視覚障がい体験をしました。ご協力いただいたボランティアの方々は、船橋市障害者友の会2名、車椅子レクダンス普及会矢車草8名と千葉YMCA高等学院の生徒と教師9名でした。



《八栄小の車いす体験の様子です》



《八栄小の視覚障がい体験の様子です》



《全員で車いすダンスを踊りました》



《最後に車いすを使用している方の話を聞きます》

障がい体験教室では、児童の体験が終わった後で車いすダンスの模範演技を見てさらに全員で車いすダンスを踊るプログラムが組まれています。

体験教室の最後は、日常生活で車いすを使用している障がい者の方から、どんなことで困るのか、どんな手助けがうれしいのかといったお話をうかがいます。その後は、児童から色々な質問が出て、それに障がい者の方が答えてくださいます。

千葉YMCAクリスマスフェスタに出店



《12月1日(日)千葉センターでお店を出しました》

この日の売り上げは5,480円で、半分をクリスマス献金に、残りの半分を次回のチャリティーランの スポンサー代の一部に積み立てました。

船橋YMCA活動記録

- ・ 11月18日(月) 新中期計画検討委員会
- ・ 11月19日(火) 夏見台小「障がい体験教室」
- ・ 11月19日(火) 常議員会
- ・ 12月1日(日) 千葉センター クリスマスフェスタ出店
- ・ 12月3日(火) 八栄小「障がい体験教室」
- ・ 12月16日(月) 新中期計画検討委員会

編集後記

障がい体験教室は、船橋地域の障がい者と学校の生徒・児童を結ぶ貴重な活動で、他の地域でもやる気があれば出来ると思っています。 (楨)